

教科名	国語	科目名	現代の国語	履修学年	中学・高校	1 年	全 組	
単位数	2	使用教科書 補助教材等	三省堂 『 精選 現代の国語』					
担当者	栗原 小林		三省堂 『 精選 現代の国語』 演習ノート 筑摩書房『 言語文化』					
学習目標	・ 文章の意図を確実に理解することにより、様々な立場から世界を見て、自分の考えを持つことができる。 ・ 自分の思考を言葉にして、相手に伝えることができる。 1 年次は特に論理的文章における主張を把握できることを目標とする。							
評価方法								
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	主張と論拠など事柄同士の関係について理解することができる。言葉の意味を適切に理解し、自分の表現活動に活かすことができる。		文章の内容や構成、論理の展開についての確にとらえ主張や主題・要点を理解することができる。文章を書く際に自分の考えが、状況に合わせて的確に伝わるように表現を工夫している。また表現することにより思索を深めている。		各単元における知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることができる。また、それらの力を適切に活用するために、自らの学習状況を把握し、既習の内容を生かしながら課題や活動に主体的に取り組もうとしている。			
各観点の授業内 評価方法等	定期考査				単元終了時の「 研究課題」 学習の取り組み状況			
	平素の小テスト・ 課題・ 提出物等							
	到達度確認テスト				※各観点における評価方法は、横断的に実施することがある。			
学期末の 各観点比率(%)	40%		40%		20%			
授業計画								
学 期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等				時 間 数	評 価 区 分 1 評 価 区 分 2	
1	4	『 水の東西』山崎正和 『 言語は色眼鏡である』野本菊雄				4 5	中間考査	研究課題①
	5	中間考査				9		
	6	『 失われた両腕』清岡卓行 『 ネット が崩す公私の鏡』黒崎政男 『 情報と身体』吉岡洋				3 4 3	期末考査	
	7	期末考査				10		
	8	課題 身近な日本文化を紹介しよう・情報社会について考える				1		
2	9	『 「見える文化」/「見えない文化」』原沢伊都夫 『 ありのままの世界は見えない』田中真知 『 夢十夜』夏目漱石				2 4 3	中間考査	研究課題②
	10	中間考査				10		
	11	『 人がアンドロイドとして蘇る未来 アンドロイド 基本原則』谷島貫太				4	期末考査	
		『 生物と無生物のあいだ』福岡伸一 『 ヒトゲノムの意義』 『 命は誰のものなのか』柳澤桂子				3 1 2		
	12	期末考査				10		
	3	1	『 共生社会で求められる「相対的よそ者」の視点』森千香子 『 グローバリゼーションの光と影』小熊英二				3 4	
2		『 待ち伏せ』ティム・オブライエン				3		
3		学年末考査				12		
		※単元・作品に応じて、+αの教材を用いて、演習を行う。 ※到達度・進捗状況等により、教材・取り扱う内容の変更の可能性がある。						

教科名	国語	科目名	言語文化	履修学年	中学・高校	1 年	1～4 組		
単位数	2	使用教科書 補助教材等	言語文化（ 筑摩書房）						
担当者	松永 航平		古文単語315（ 桐原書店） ステップアップノート 30古典文法基礎ドリル（ 河合出版） 漢文必携（ 桐原書店） その他、プリント・映像等、必要に応じた教材各種						
学習目標	・ 時代を超えて継承されてきた言語への共感を持ち、言語を介した日本文化を体感すること。 ・ 現代における言語・文化のルーツにふれることで、対照的に現代の言語・文化を振り返ること。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢				
評価規準	我が国の伝統的な言語文化の特徴的な語句・表現に親しみ、適切に理解し、使用している。 古典・近現代の文学世界に親しむために、作品や歴史的・文化的背景を適切に理解している。		「書くこと」：体験や共感、思考が読み手に伝わるよう、【知識・技能】で学んだ内容を適切に用いて工夫している。 「読むこと」：時代や国の枠組みにとらわれず、作品や文章の内容を適切に理解・対照し、我が国の言語文化について、自分の考えを示している。		【知識・技能】【思考・判断・表現】を身につけようとする中で、年度を通して自己調整に取り組んでいる。				
各観点の授業内 評価方法等	定期考査				①単元終了時の「研究課題」 ②振り返りシート 等を用いた自己調整のモニタリング				
	平素の小テスト・課題・提出物等								
	到達度確認テスト								
	※各観点における評価方法は、横断的に実施することがある。								
学期末の 各観点比率(%)	40%		40%		20%				
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等				時間 数	評価 区分 1	評価 区分 2	
1	4	「 古典を学ぶ」 （ 大岡信『 言葉の力』）		古文基礎・復習		3	中間 考査	研究課題①	
		【 古文】『 土佐日記』		古代日本文学の基本・助動詞発展		3			
	5	【 漢文】 故事成語「 守株」「 推敲」「 借虎威」		漢文訓読復習・再読文字・重要句法		4			
		中間考査				10			
	6	「 古典と 近代文学」 （「 近代語の成立」） 芥川龍之介『 羅生門』 『 宇治拾遺物語』『 絵仏師良秀」他 ○研究課題①		言文一致、近代文学と古典文学とのリンク 近代文学・小説		1 5 4	期末 考査		
		7	期末考査						10
	8								
2		9	到達度確認テスト ①				2 5 3	中間 考査	研究課題②
	「 韻文の比較（表現）」 到達度の振り返り 【 古文】『 伊勢物語』 東下り 【 漢文】 漢詩		和歌修辞、助動詞発展 漢詩基礎の復習						
	中間考査				10				
	思想の比較				6 6	期末 考査			
	11	無常観の比較『 方丈記』『 平家物語』 儒学思想『 論語』 他 ○研究課題②		助動詞・助詞発展 句法発展					
		12	期末考査				12		
	3	1	到達度確認テスト ②				2 4 3	学 年 末 考 査	
到達度の振り返り 故事成語・史伝 十八史略・日本外史									
○研究課題③									
学年末考査				9					
2									
		3							
※到達度・進捗状況等により、教材・取り扱う内容の変更の可能性がある。				52＋7時間± α					

教科名	国語	科目名	言語文化	履修学年	中学・高校	1 年	5～7	組			
単位数	2	使用教科書 補助教材等	言語文化（ 筑摩書房）								
担当者	山本 宏樹		古文単語315（ 桐原書店） ステップアップノート 30古典文法基礎ドリル（ 河合出版） 漢文必携（ 桐原書店） その他、プリント・映像等、必要に応じた教材各種								
学習目標	・ 時代を超えて継承されてきた言語への共感を持ち、言語を介した日本文化を体感すること。 ・ 現代における言語・文化のルーツにふれることで、対照的に現代の言語・文化を振り返ること。										
評価方法											
評価観点	知識・技能			思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢					
評価規準	我が国の伝統的な言語文化の特徴的な語句・表現に親しみ、適切に理解し、使用している。 古典・近現代の文学世界に親しむために、作品や歴史的・文化的背景を適切に理解している。			「書くこと」：体験や共感、思考が読み手に伝わるよう、【知識・技能】で学んだ内容を適切に用いて工夫している。 「読むこと」：時代や国の枠組みにとらわれず、作品や文章の内容を適切に理解・対照し、我が国の言語文化について、自分の考えを示している。		【知識・技能】【思考・判断・表現】を身につけようとする中で、年度を通して自己調整に取り組んでいる。					
各観点の授業内 評価方法等	定期考査				①単元終了時の「研究課題」 ②振り返りシート 等を用いた自己調整のモニタリング						
	平素の小テスト・課題・提出物等										
	到達度確認テスト										
	※各観点における評価方法は、横断的に実施することがある。										
学期末の 各観点比率(%)	40%			40%		20%					
授業計画											
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間 数	評価 区分 1	評価 区分 2		
1	4	「 古典を学ぶ」 （ 大岡信『 言葉の力』）			古文基礎・歴史的仮名遣い・用言の活用 古代日本文学の基本・助動詞導入		2 4 4	中間 考査	研究課題①		
		【 古文】『 土佐日記』 【 漢文】 故事成語「 守株」「 推敲」「 借虎威」									
	5	漢文導入・訓読の基本・重要句法・（ 再読文字）					10			期 末 考 査	
		中間考査									
	6	「 古典と 近代文学」 （「 近代語の成立」） 芥川龍之介『 羅生門』 『 宇治拾遺物語』『 絵仏師良秀」他 ○研究課題①			言文一致、近代文学と古典文学とのリンク 近代文学・小説		1 5 4				期 末 考 査
		期末考査			10						
7						10	期 末 考 査				
8								期 末 考 査			
2	9	到達度確認テスト ①							2 5 3	中間 考査	研究課題②
		「 韻文の比較（表現）」 到達度の振り返り 【 古文】『 伊勢物語』 東下り 【 漢文】 漢詩			和歌修辞、助動詞基礎 漢詩基礎						
	10	中間考査					10		期 末 考 査		
		思想の比較									
	11	無常観の比較『 方丈記』『 平家物語』 儒学思想『 論語』 他 ○研究課題②			助動詞・助詞発展 句法発展		6 6	期 末 考 査			
		期末考査									
12							期 末 考 査				
3	1	到達度確認テスト ②							2 4 3	学 年 末 考 査	研究課題③
		到達度の振り返り 史伝 十八史略・日本外史									
	2	○研究課題③						9	学 年 末 考 査		
		学年末考査									
	3							学 年 末 考 査			
※到達度・進捗状況等により、教材・取り扱う内容の変更の可能性がある。							52＋7時間±α				